

平成18年度

# 第1回「城里町ふれあいの船」事業

in 北海道



**A班**  
【学校別班割り】  
7月25日(火)～29日(土)  
石塚小学校、小松小学校  
青山小学校、古内小学校

**B班**  
【学校別班割り】  
8月26日(土)～30日(水)  
坏小学校、岩船小学校  
北方小学校、沢山小学校  
七会東小学校、七会西小学校

町内の小学校6年生を対象に、北海道の雄大な自然の中での活動や船を利用した集団活動をとおして、相互の心のふれあいや自然とのふれあいを深めるとともに、通常の学校生活では得られない貴重な体験をとおし、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的として、第1回「城里町ふれあいの船」事業を4泊5日にわたって実施しました。

参加者は、A班98名、B班104名で、合計202名の参加者でした。

## 第1日目

【午後3時】常北公民館で出発式  
出発式では、A班は小松小学校の袴塚玲央君、B班では沢山小学校の平賀りほさんが

参加者代表あいさつを行い、元気に城里町を出発しました。



【午後4時30分】大洗港着・乗船  
荷物の整理をしたあと、出港前にさっそく船中での最初の食事をとり、みんなおいしそうに食べていました。



【午後6時30分】大洗港出港  
デッキから見送りにきた人たちに手をふり、離岸風景を楽しみました。



## 第2日目

【午前6時】起床

レストランにて朝食

【午前9時】デッキ・ブリッジ見学

船長さんの説明により、操舵室を見学しました。

【午前9時30分】はがき作成

デッキ・ブリッジ見学班と交替に、自宅にはがきを書きました。はがきは、北海道で郵便ポストに投函されました。

【午後1時30分】苫小牧港到着

下船後、バスに乗りして、一路洞爺湖へ向かいました。

【午後3時30分】洞爺湖到着

洞爺湖火山科学館を見学し、ボランティアガイドの案内で西山火口を散策しまし

た。噴煙が立ち込め、自然の驚異を学びました。



【午後5時30分】洞爺湖パークホテル着  
レストランでのバイキング料理や洞爺湖湖上花火（A班のみ）を楽しみました。また、夕べの集いでは学校紹介も行いました。



第3日目

【午前6時】起床

レストランにてバイキング朝食

【午前9時】昭和新山見学

昭和新山をバックに集合写真を取りました。



【午前10時】白老ポロトコタン着

アイヌ民族博物館等を見学、ムックリ作りを体験し、ジンギスカン料理は食べ放題でした。



第4日目

【午前6時】起床

大広間での朝食

【午前10時】北海道開拓の村着

北海道の開拓の歴史を学びました。



【午後2時30分】支笏湖ハイキング

北海道の自然を満喫しました。



【午後5時】定山溪ホテル着

大広間を貸しきっての夕食、夕べの集いででの学校紹介を行いました。



第5日目

【午前6時】起床

レストランにて朝食

【午前9時】感想文作成

船内で高校生（リーダー）とのレクリエーションを楽しんだあと、ふれあいの船体験活動について感想文を書きました。（A班は、船の揺れが大きく、酔う方が多かったため、夏休みの宿題となりました。）

【午後0時】解散式

船内において、解散式を行いました。この研修のまとめとしました。参加者代表のあいさつは、A班が石塚小学校の関谷宗一郎君、B班が七会東小学校の矢野史晃君が行いました。最後に子どもたちからリーダーの高校生に対して感謝のことばがあり、感激のあまり涙する姿も見られました。

【午後4時30分】苫小牧港着・乗船



【午後1時】札幌市内見学

ボランティアガイドの案内で、旧道庁や札幌時計台等を見学しました。また、お土産等の買い物もここで楽しみました。



いよいよ帰りの船です。荷物の整理をしたあと、出港前

【午後2時】大洗港着

【午後3時30分】常北公民館解散

4泊5日の研修が終了しました。

第5日目

【午前6時】起床

レストランにて朝食

【午前9時】感想文作成

船内で高校生（リーダー）とのレクリエーションを楽しんだあと、ふれあいの船体験活動について感想文を書きました。（A班は、船の揺れが大きく、酔う方が多かったため、夏休みの宿題となりました。）

【午後0時】解散式

船内において、解散式を行いました。この研修のまとめとしました。参加者代表のあいさつは、A班が石塚小学校の関谷宗一郎君、B班が七会東小学校の矢野史晃君が行いました。最後に子どもたちからリーダーの高校生に対して感謝のことばがあり、感激のあまり涙する姿も見られました。

【午後4時30分】苫小牧港着・乗船

いよいよ帰りの船です。荷物の整理をしたあと、出港前



ふれあいの船事業実施に当たり、保護者説明会及び参加者事前研修会を2回行いましたが、知らないもの同士が相互のふれあいを深める中で集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。

実施後の学校からの報告でも、「大集団の中で生活することの良さを実際に身につけられた」、「10分前行動5分前集合の約束が学校生活の中でもできつつある」、「大人数の中での体験から、小規模校の児童の行動に自信がついてきたようだ」というようなことがあげられてきました。

また、何といっても引率者である高校生と子どもたちの間に、「お互いにこの5日間の団体生活でお世話になったことを認め合い、感謝しあう」という気持ち芽生え、解散式では涙を流し合っただけでも印象的な事業となりました。

